

EAST TIMES

東日本保証広報誌 2026 冬号



特集

「ねがう」

特集「ねがう」

「ねがう」をキーワードに、社会資本整備に関わるさまざまな取り組みについて考えていく

12 新年にねがう

Photo Gallery
新しい年の始まりに
1年の多幸を「ねがう」



気比神社(702年建立 福井県敦賀市)

04 回復をねがう

災害復旧現場の惨状で心身の不調
作業員のメンタルの回復を「ねがう」

巻頭インタビュー

筑波大学 名誉教授 松井 豊 氏



14 「生誕100年(没後25年)記念展示 古川修の建設業の世界」展の紹介

建設産業図書館



08 将来の入職をねがう

ルポ「除雪カード」で好奇心をそそり
将来の担い手に入職を「ねがう」

一般社団法人栃木県建設業協会 日光支部 支部長 榎本 美明 氏

16 連載「けんせつのでんせつ」シリーズ85 建設の幻獣 5 大いなる建設者たち

建設産業図書館事務局 江口 知秀



ダイダラボッチ
(当館職員 上原由子画)

18 トピックス 山梨支店から 願いを叶える 個性的な建造物



グリーンバンクチャペル
(山梨県甲府市 写真提供:山梨英和中学校・高等学校)

10 ねがい、寄り添う 名建築

地域の話 よりみち この街 Vol. 35

人々が祈り、「ねがう」神田明神
人々に寄り添う 築地本願寺

鈴木 伸子



神田明神・随神門(東京都千代田区 写真提供:神田明神)



表紙の写真
おわりおおくにたまじんじや
尾張大國霊神社 拜殿
(愛知県稲沢市)

江戸初期特有の、簡素で端整な社殿
様式の拜殿。檜皮葺・切妻造の屋根、
内部に総円柱の柱が並立する稀有な
建物で、歴史的意匠と構法を良好に伝
えることから、昭和30年(1955)、重要
文化財に指定された。かけがえのない
平和な日常が末永く続くよう願いを込め
て、多くの人が初詣に訪れる。

●P12-13 Photo Gallery
「新年にねがう」をご覧ください。



回復をねがう

特集「ねがう」

災害復旧現場の惨状で心身の不調 作業員のメンタルの回復を「ねがう」

筑波大学 名誉教授

巻頭インタビュー

松井 豊氏

災害復旧の現場に一番乗りする地域建設業の従事者。東日本大震災では、がれきの撤去作業と行方不明者の捜索が同時に行われ、ご遺体に遭遇することもあった。こうした惨事に対する訓練を受けている自衛隊員や消防職員とは違い、経験したことのない惨状に、心身の不調を訴える作業員もいた。いわゆる惨事ストレスだ。地震や台風などの災害復旧現場で作業を行うにあたり、自身や同僚の不調にどう気付き、ストレスケアにどう取り組んだらよいのか――。第一人者である筑波大学名誉教授の松井 豊氏に聞いた。

復旧活動からしばらくたつてからストレス反応が表れ、それが長引く、というのが特徴です。大切な問題ですが、実際にどんなストレス反応が表れるのか、研究者の間では関心をほとんど示してこなかったのです。

これに対して自衛隊員や消防職員については、ストレス反応に関するデータが豊富に収集され、その分析に基づくケアもすでに提供されています。建設業従事者に関する調査の必要性を痛感しています。

男性社会は弱音を吐きにくい
症状の見極めは具体的な問いで

――惨事ストレスとはどういうものを指すのですか。

松井 惨事に直面した時やその後、後に生じる外傷性ストレス反応です。惨事とは、火災、ビルの倒壊、地震、洪水、津波などです。被災者・被害者はもとより、その家族や救援・復旧にあたる職業の方などが被害を受けることとなります。

建設業従事者として災害復旧にあたる方が惨事ストレスを受けることは、9・11アメリカ同時多発テロの時に明らかになりました。

――建設業従事者については、具体的にどんな反応や症状が見られると考えられますか。

松井 ストレス性身体症状や心的外傷後ストレス障害 PTSD (Post Traumatic Stress Disorder) などが表れます。

まずストレス性身体症状で言えば、寝付けなくなりますが、何かしなくては、何かやり残したことがあるのでは、と寝ていられない。また食欲不振になる。ご遺体を扱った後は、肉を食べられなくなったりします。下痢や便秘もよく表れます。このほか、疲労感が抜けない。被災地では宿舎がなく、車中や寝袋での就寝を強いられるという背景もあります。

組織内でストレスケアに取り組まれる方は、こうした症状を頭に入れておいてください。

建設会社のように、男性が多い社会では弱音を吐きにくく、体調を尋ねてもまず、「大丈夫です」という答えが返ってくるため、本当のところは分からない。そこで、「眠れていますか」「何時に寝ましたか」「何時に起きましたか」と、具体的に尋ねる。これなら睡眠時間まで分かります。身体症状からストレスの有無を探り当てられるのです。

――もう一つのPTSDは、どんな症状が表れますか。

松井 突然、辛い経験の光景や記憶が蘇る「侵入」と呼ばれる症状があります。思い出したくないのに勝手に蘇ってくることから、侵入という言葉を使います。

何かをきっかけに突然光景が蘇るフラッシュバックは、その典型例です。被災地で建機操作中にご遺体に遭遇してしまった作業員は、レバーの感触と同様の感触を感じることで、辛い光景が蘇ることがあ

●惨事ストレスの主な症状

体に起きる変化――ストレス性身体症状

- ✓ 睡眠系(寝付けない、再入眠できない、悪夢)
- ✓ 消化器系(吐き気、胸やけ、過食、食欲不振、胃潰瘍)
- ✓ 泌尿器系(下痢、便秘、頻尿)
- ✓ 呼吸器系(息苦しさ、空咳、過呼吸、喉の違和感)
- ✓ 循環器系(高血圧、動悸)
- ✓ その他(疲労感、多汗、偏頭痛 など)

心に起きる変化――PTSD

- ✓ 侵入症状(苦痛な記憶、フラッシュバック など)
- ✓ 持続的回避(会話の回避 など)
- ✓ 認知と気分のネガティブな変化(解離性健忘 など)
- ✓ 覚醒(激しい怒り、睡眠障害 など)

(提供:松井 豊氏)

がない」と、自分で強く思い込んでしまっています。

この症状では、持続的なネガティブな感情、中でも怒りの感情が表れます。原因は、理不尽な状態への怒りです。本来は災害に怒りをぶつけたい。でも、それは無理。そこで、身近な人に怒りをぶつけてしまうのです。

**休まないことを美談にする上司
部下のストレスを見逃しがち**

怒りは、「覚醒」と呼ばれる症状にも分類されます。ここにはほかに、「過敏反応」も表れます。何でもなかったものに強く反応するようになる症状です。例えば豪雨災害の被災者が、雨の音を聞くだけで眠れなくなる、というものです。また、休めなくなります。自分が休むのは申し訳ないという気持ちで働くのです。

部下が休まずに救援・復旧活動にあたるのを美談にするような上

司は要注意です。被災後の慌ただしい時期に休まずに働いてくれるのはありがたいから、美談にしがちです。でもそんな上司ほど、部下のストレスを見逃しがちです。ある時、心がボキッと折れて、職場に來なくなる恐れがあります。

ます。地元住民からも感謝されますから、周囲に支えられる。ところが活動が落ち着いてくると、辛かった経験が蘇ってくるのです。——では、心を休めるために個人でできることはありますか。

——ストレス反応の表れ方について、建設業従事者に特有の傾向は何かありますか。

松井 あります。遅発性と呼ばれる傾向が強いとみています。

時間経過を横軸に、症状の強さを縦軸に置くと、ストレス反応の表れ方には3つのパターンがあります。まず、最初は症状が強く表れ、時間経過とともに徐々に弱まっていくな経過です。次に、

まず、地元住民からも感謝されますから、周囲に支えられる。ところが活動が落ち着いてくると、辛かった経験が蘇ってくるのです。——では、心を休めるために個人でできることはありますか。

災害時には作業員の健康確保もBCPにストレスケアの視点

す。初めのうちは症状がそう強くなく、時間経過とともに跳ね上がるパターンです。建設業従事者には、この傾向がよく見られると考えられます。

なぜか。ポイントは、被災地での活動が継続するという点です。活動中は、使命感も達成感もあり

睡眠障害や食欲不振などの身体症状が重く、しかも1〜3カ月以上続くような場合は、医療機関の受診を勧めます。職場でミスが続いたり円満だった家庭が不和に陥ったりするなど日常生活に支障が生じる場合も、そうです。

松井 まずトップから支援表明を発してほしい。見舞い、ねぎらい、敬意の気持ちをそこで表してください。次に作業員の安全確保です。BCP（Business Continuity Plan：事業継続計画）の中に健康確保を惨事ストレスケアの観点

からぜひ組み込んでほしい。休憩・休養場所の確保も重要です。また被災地では怒りの感情が蔓延しやすい。地域の外から復旧活動に入る場合、それに備える意味で事前にそういう状況を説明しておくとう安心です。

健康診断も必要です。建設業従事者には遅発性の傾向が見られがちであることを考えると、復旧活動後間もない時期だけでなく、1年後もやったほうがいい。また職場の支え合い促進もお勧めです。毎夕の報告会を開いてもいい。チー

ムで活動にあたっているなら、その日の出来事を互いに吐き出すのが、一つのストレスケアだからです。1人で活動に当たっているなら、上司が話を聴くだけでも違います。何よりも、被災現場で復旧活動にあたる作業員に異変があれば

ば、周囲に気付いてほしい。いつもと何か違うという気付きこそが、ストレスケアの起点になります。被災地で活躍される建設業従事者が、惨事ストレスケアを心掛けながら、誇りを持って復旧活動を続けられることを願います。

●心を休めるために個人でできること

- ☑ **記録を採る**
- ☑ **家族や自身の安全確保**
- ☑ **ストレス反応の自覚**
 - 限界を自覚する・無理をしない
 - ストレス性の身体症状を把握する
 - IES-R(改訂版出来事インパクト尺度)を活用する
 - 暴飲・暴食をしていないか自覚する
- ☑ **感情の発散 笑うことと泣くことを行う**
- ☑ **生活のリズムを取り戻す 快眠・快食・快便を心掛ける**
- ☑ **休暇・休養を取る**
 - 地元から一時的に離れることも有効
 - 災害対応は長期戦であることを意識する
 - 過剰労働はストレス症状であることを理解する
- ☑ **リラクセーション**
 - 身体のケアがこころのケアにつながる
 - 吐く息を長くする呼吸法を心掛ける
 - 温めの湯舟に8分間の入浴が効果的
- ☑ **家族と話す・仲間と話す**
 - 同僚からのサポートがPTSDを抑制する
 - 互いに受け入れてくれる方とのコミュニケーション
- ☑ **積極的なストレス解消**
 - 趣味・スポーツの実施
- ☑ **専門家による援助**
 - うつへの対応

(提供:松井 豊氏)

●組織が行うストレスケア

- (1)急性期
 - ☑ **トップからの支援表明**
 - 見舞い・ねぎらい・敬意
 - ☑ **職員の安全確保・資源確保**
 - ☑ **記録を採らせる**
 - ☑ **休憩・休養場所の確保**
 - ☑ **怒りの蔓延に備える**
- (2)亜急性期以降
 - ☑ **健康診断**(メンタル部分も考慮して)
 - ☑ **職場内の支えあいの促進**
 - 活動を肯定的に評価する(ねぎらい・誇り)
 - 毎夕の報告会(defusing)
 - ☑ **休養の付与**
 - 過剰労働の抑制
 - ☑ **上司の対応(ラインケア)**
 - 話を聞く時間を取る
 - できる範囲で業務などの対応を
 - ☑ **慰労会、懇親会、振り返りの会**
 - 話せる場所を設ける

(提供:松井 豊氏)



松井 豊(まつい ゆたか)

【現職】
筑波大学 名誉教授、筑波大学働く人への心理支援開発研究センター 主幹研究員。消防大学 校 客員教授。

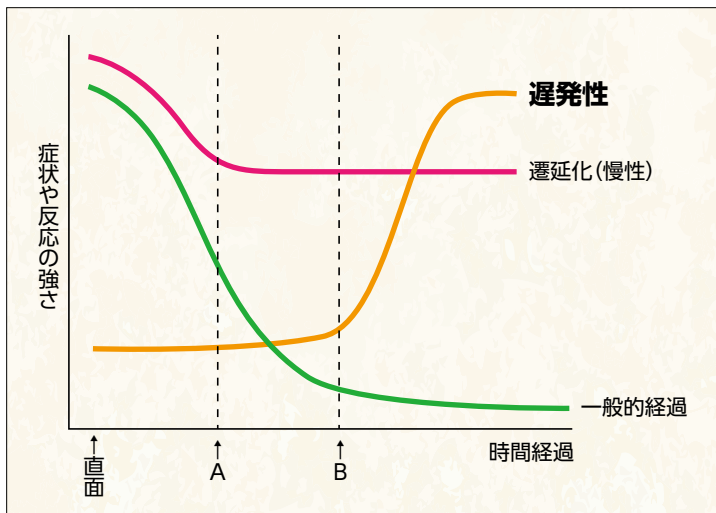
【略歴】
1954年3月生まれ。東京都立大学人文科学研究科博士課程修了。文学博士(東京都立大学)。聖心女子大学助教授、筑波大学教授等を経て、現職。東京消防庁惨事ストレス対策に関する専門指導員、総務省消防庁 緊急時メンタルサポートチーム委員、一般財団法人地方公務員安全衛生推進協会「メンタルヘルス対策専門派遣事業」専門員などで、被災地への心理支援を行う。国際外傷性ストレス学会 Frank Ocheberg Award for Media and Trauma受賞、日本社会心理学会 学会賞(出版賞)受賞。

【主な著書】
『惨事ストレスとは何か』河出書房新社 2019年*



※ 弊社建設産業図書館で所蔵しています

●惨事ストレス・被災ストレスの時間経過の模式図



(提供:松井 豊氏)

※ 「IES-R」(Impact of Event Scale-Revised)：心的外傷性ストレス症状を測定するための自記式質問紙。本日を含む最近の一週間、22項目の内容について、どの程度強く悩まれたかを自己評価する。ウェブサイトからダウンロードできる



「除雪カード」で好奇心をそそり 将来の担い手に入職を「ねがう」

(写真提供:一般社団法人栃木県建設業協会日光支部)

業界をPRするのが狙い。作成・配布への思いや手応えを支部長の榎本 美明氏(榎本建設株式会社代表取締役)に聞いた。

土 木のカードが進化を遂げている。表面に

掲載される画像はもはや、構造物の写真だけではなく、いまや現場風景の写真も加わる。日光支部が令和6年(2024)11月に作成した「除雪カード」である。

全7種類。除雪ローダーが雪を押し分けたり、ロータリー除雪車が雪を吹き飛ばしたり。「一番人気は、背景に日光連山を代表する男体山が写り込んだカードです」。榎本氏が教えてくれる。

画像は、発注者である栃木県の日光土木事務所への報告用に撮影したもの。絵柄として良さそうな6枚を見繕い、毎年11月に開催する道路除雪隊出動式の1枚を加えた。

初版は300枚ずつ作成。好評だったことから、100枚ずつ、増刷

をした。「いまはもう、残りはほとんどありません」(榎本氏)。

ダムカードにあやかり作成へ 建設業が担う除雪の役割をPR

「除雪カード」作成のきっかけは、先の出動式である。

日光市内で活躍する除雪車両の一部は、県で保有するものだ。市内で雪が降り始める毎年11月、降雪時にはすぐ出動できるように、それらの車両を日光土木事務所から支部の会員各社に配備する出動式を行う。

2022年度以降は、道路を挟んだ向かいに立地する日光市立日光小学校の児童をその場に招く。「子どもたちが将来、建設業の担い手になるように、業界のことをPRしたい」(榎本氏)という狙いからだ。

「除雪カード」は、出動式に参加した児童へのお土産だ。「出動式では除雪車両の働きを説明しています。それに併せてカードを配布し、除雪の役割も建設業で担うことをPRしようと考えたのです」(榎本氏)。

カードという発想は、流行を意識した。「ダムカードが流行りま

したから。それにあやかうという考え方です」と榎本氏は打ち明ける。

PRの相手は、子どもに限らない。除雪の役割を建設業が担うとは、大人でさえまず知らないこと。大がかりな除雪の必要に迫られない地域の住民であれば、なおさらだ。

「除雪カード」は実際、日光支部の事務所を訪ねてきた大人にも配布してきた。「遠く県外からも訪ねてきました。観光ついでに立ち寄るとか、新聞記事を見て手に入れに来るとか、反響は想定以上です。カードマニアもいますね」(榎本氏)。

日光支部ではそもそも除雪事業にどう取り組んでいるのか。受



「除雪カード」は日光支部の事務所に1人1枚無料で配布している

は限界がある。建設事業と違って、先行きの見通しを立てにくいのも、苦勞の一つだ。何しろ出動するか否かは、天候次第。雪が降らなければ、仕事にはならない。しかも、その予測には限界がある。

榎本氏が補足する。「売り上げを予測できないので、除雪車両

注元は、日光支部会員のほぼすべての36社で出資する日光建設業協同組合。トップには支部同様、榎本氏が立つ。雪が降れば、市内をいくつかに分けたエリア単位で作業を割り振る。

建設事業とは異なる除雪事業 見通し立たずに、過剰要求も

苦 勞の一つは、作業時間帯の早

さ。地域住民や観光客が安全・安心に道路を利用できるようにするという目的から、早朝から出動する必要がある。「山間部になると、朝3時起きです」と榎本氏は明かす。

建設事業と違って、先行きの見通しを立てにくいのも、苦勞の一つだ。何しろ出動するか否かは、天候次第。雪が降らなければ、仕事にはならない。しかも、その予測には限界がある。

榎本氏が補足する。「売り上げを予測できないので、除雪車両

の確保やオペレーターの採用に対する判断が難しい。感覚で言えば、地球温暖化の影響で雪が降らなくなっています。それも心配ごとの一つです」。

また、仕様書通りの作業を求められるというわけではない点も、建設事業とは異なる。雪に慣れない観光客は、雪道の走行に備えないまま訪れ、雪が降ると慌てる。それは時として、過剰な要求を生み、発注者である土木事務所への苦情につながる。

それでも除雪事業を続けるのは、地域の守り手としての自覚から。日光市が管理する市道の除雪は、エリア別に個社単位で随意契約に基づき作業を請け負う。「そこでは雪で隠れた道路付近の様子まで思い起こしながら作業します。地域を良く知る地元会社にしかできないことです」(榎本氏)。

将来の担い手確保という点では、いま、地域に向かい風が吹く。日光市内にある県立工業高校が普通高校に2029年度までに統合されるに伴い、建設工学科が廃止されるからだ。

ただ逆風の中、「除雪カード」の作成・配布は令和7年(2025)も継続した。「第1弾の手応えが

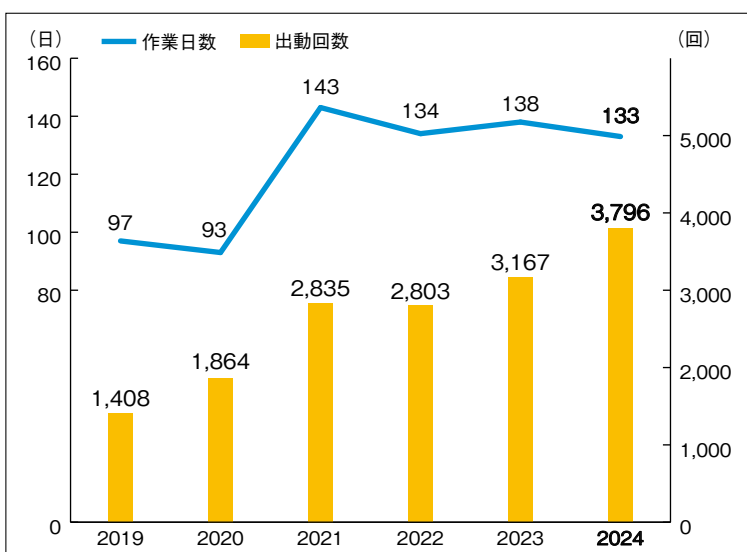
●令和6年(2024)に発行した除雪カード(全7種)と裏面(共通)



(提供:一般社団法人栃木県建設業協会日光支部)

十分でしたから。第2弾では画像を差し替え、新しいバージョンに作り替える予定です」榎本氏は前向きにカードづくりを楽しむ。

●日光支部の除雪作業日数と出動回数 2019年-2024年シーズン集計



(提供:一般社団法人栃木県建設業協会日光支部)



えのもと よしあき
榎本 美明
一般社団法人栃木県建設業協会
日光支部
支部長

人々が祈り、「ねがう」神田明神 人々に寄り添う築地本願寺

神社、寺院の社殿や本堂は、長い歴史があり、人々に親しまれてきたものも多い。都内には、建築物としても優れた文化財的な価値を持つ神社建築も数多くあり、それらを名建築という視点で見直してみると、その価値を再認識することになるだろう。

震災復興期に鉄骨鉄筋コンクリートで造営された社殿

江戸総鎮守として知られる神田明神は、本郷台地上に鎮座する東京を代表する神社。奈良時代の天平2年(730)に創建し、江戸幕府開府後に現在の場所に遷座。幕府の庇護を受けて、庶民に至るまでの広い信仰を得るようになった。

江戸時代後期に建立された社殿が明治維新後も長らく存在し

てきたが、大正12年(1923)の

関東大震災で焼失。現在の社殿は、震災復興事業により、昭和9年(1934)に鉄骨鉄筋コンクリート造、屋根は銅板葺きで竣工した。

古来、神社建築は木造で釘や金物を使わず木組みの工法で建立されるのが一般的だったが、関東大震災の復興期は、近代建築の技術が飛躍的に進歩・普及した時代で、オフィスビル、商業施設、集合住宅などの鉄筋コンクリート化が進み、神田明神のような古社でさえ、防火、耐震建築として再建される時代背景があった。

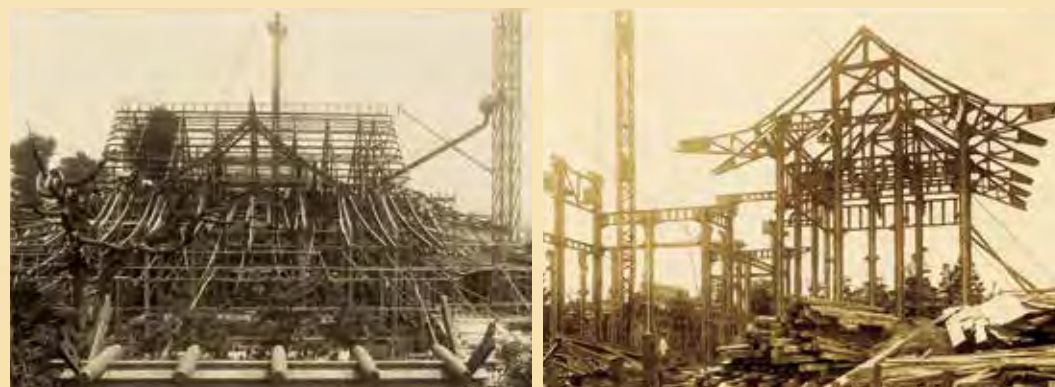
造営顧問には、東京帝国大学建築学科教授で、それまで榎原神宮、平安神宮、明治神宮などの造営を担当していた伊東忠太が就任し、設計は、やはり神社建築の権威である大江新太郎と、早稲田大学建



神田明神・御神殿(東京都千代田区 国登録有形文化財)

築学科の創設者でもある佐藤功一が担当した。

デザイン的には、小屋組を鉄骨にして軽量化、柱の本数を増やして細くし、木造の風合いを



震災復興事業により建設中の社殿の様子

(写真提供:神田明神)

出すために表面は漆塗りとするなど、一見して鉄筋コンクリート造に見えない工夫が随所に施されている。

近く創建1300年を迎えるにあたり、境内の再整備が行われて、土産物屋やカフェ、多目的ホールなどのある「神田明神文化交流館」も竣工。5月に行われる神田祭が江戸三大祭として知られるほか、近年は企業人や経営者たちが参拝に訪れ、商売繁昌・社運隆昌を願う場としても注目されている。境内では、結婚式に臨む花嫁花婿の姿や、家族で参拝に訪れている人々を見かけ、常に多くの人が祈りと願いを捧げている場であることを実感する。

一見して奇想の建築 古代仏教様式の浄土真宗寺院

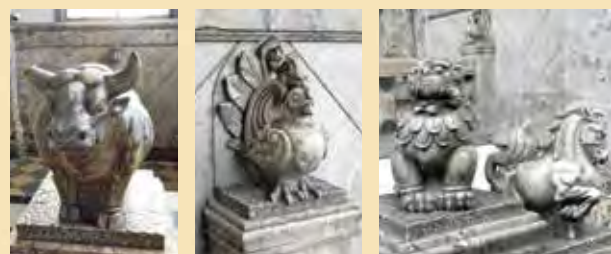
銀座からは徒歩圏、築地場外市場にも近い場所に立つ築地本願寺は元和3年(1617)に創建した。江戸時代は浅草にあったが明暦の大火で焼失し、延宝7年(1679)に現在の場所に再建。しかし再び関東大震災による火災で焼失。

その後、神田明神造営顧問も務めた伊東忠太の設計により、昭和9年(1934)に現在の本堂が再建された。その建物の構造も鉄骨鉄筋コンクリート造であり、インド等アジアの古代仏教様式を採用した建物の細部には、インド以外に和洋折衷の建築要素が取り入れられている点が独創的だ。

伊東忠太は、明治日本の近代建築の祖・辰野金吾の弟子であり、近代日本で初めて建築史という学問を体系化した人物でもある。その建築作品には、都内だけでも、国立市にある一橋大学兼松講堂、墨田区の東京都慰霊堂、東京都復興記念館、文京区の湯島聖堂、港区の大倉集古館などがある。



築地本願寺・本堂(東京都中央区 重要文化財)



境内の各所で、動物好きの伊東忠太博士が設置した動物像が見られる。牛、孔雀、獅子、馬の他に象や猿など全13種類



インフォメーションセンター

この本堂を含め、正門・北門・南門の門柱、大谷石の石塀は、国の重要文化財に指定されている。

この築地本願寺でも近年、境内の整備が行われ、カフェTsumugiなどを備えたインフォメーションセンター、納骨堂など、時代に即した形で新たな施設が設けられている。一方で、現在、重要文化財の本堂などの保存修理工事が進行中。建築遺産としても、未来に大事に継承されていくことだろう。

(文・鈴木伸子)

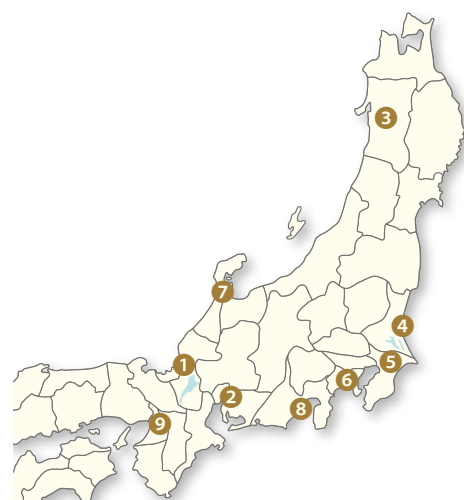
すずきのぶこ 東京生まれ。東京女子大学卒業後、雑誌「東京人」編集部勤務。1997年より副編集長、2010年退社後、都市、建築、鉄道、まち歩きなどをテーマに執筆活動を行う。



新しい年の始まりに 1年の多幸を「ねがう」

2	1
6	3
9	4
8	7

1. 氣比神宮(702年建立 福井県敦賀市) 2. 尾張大國霊神社(創建時期不明 愛知県稲沢市) 3. 太平山の山頂に奥宮、秋田市広面赤沼に里宮が鎮座する太平山三吉神社。奥宮がある太平山は、かつて女人禁制で非常に険しい山だったため、老若男女が参拝できる里宮が建立された。勝利成功・事業繁栄の守護神として広く崇拝されている。(673年建立 秋田県秋田市 写真提供:同社) 4. 大洗磯前神社には、御祭神が降臨したとされる岩礁に建てられた神磯の鳥居がある。(856年創建 茨城県大洗町 写真提供:同社) 5. 年間1,000万人超が参拝に訪れる成田山新勝寺。毎年立春前日には節分会が開かれ、力士や俳優による豆まきが行われる。正徳2年(1712)に建立された三重塔は重要文化財。(940年開山 千葉県成田市 写真提供:同寺) 6. 寒川神社は全国唯一の八方除の守護神として約1600年の歴史を持つ。御社殿は総検造りで、拝殿には216名が一度に着席可能な参列席が設けられている。(456~479年奉幣 神奈川県寒川町 写真提供:同社) 7. 加賀百万石を治めた前田家ゆかりの寺として親しまれている妙成寺。境内には10棟もの重要文化財があり、北陸唯一の五重塔は寺のシンボルとなっている。(1294年建立 石川県羽咋市 写真提供:同寺) 8. 久能山東照宮は徳川家康公を御祭神としてお祀りする全国東照宮の創祀。国宝の御社殿は極彩色の権現造、総漆塗となっている。(1617年建立 静岡県静岡市 写真提供:久能山東照宮) 9. 日本仏法最初の官寺で、聖徳太子が建立した四天王寺。焼失と再建を繰り返しながらも、創建当時の建築様式を忠実に再現している。(593年建立 大阪府大阪市 写真提供:同寺)



新年を迎え、その年の無病息災や家内安全を願って神社や寺院に参拝する初詣。今号では訪れてみたい神社仏閣を紹介する。

まずは福井県敦賀市に鎮座する氣比神宮。北陸道の総鎮守で、交通・航海安全、農漁業始め衣食住の生活全般を護る神として崇められ、地元では「けいさん」の愛称で親しまれている。元禄2年(1689)には松尾芭蕉が訪れ、月の光が照らす境内の美しさを詠んだ句が残されており、境内には芭蕉の像と句碑がある。高さ約11mの大鳥居は日本三大木造鳥居の一つとして知られ、重要文化財に指定されている。

続いては、愛知県稲沢市に鎮座する尾張大國霊神社(通称・国府宮)。尾張国の総社で、総鎮守・農商業守護・厄除の神として広く信仰を集め、多くの人が初詣に訪れる。毎年旧正月13日には、厄払いの神事として知られる「はだか祭」が行われることでも有名だ。徳川初期建立の拝殿、足利初期建立の楼門はいずれも重要文化財に指定されている。

この他にも、全国にはさまざまなご利益で知られる神社仏閣がある。背筋が伸びるような神聖な場所へ、1年の多幸を願いに訪れてみてはいかがだろうか。

Photo Gallery

※ 国家の監督下であり、国家から経済的な支援を受けて運営されていた寺院

建設産業図書館

「生誕100年(没後25年)記念展示 古川修の建設業の世界」展の紹介 建設業研究と産業政策への貢献

令和7年(2025)は当館の産みの親ともいべき故・古川修京都大学名誉教授の生誕100年および没後25年にあたりました。それを記念して令和7年11月5日(水)から館内にて「生誕100年(没後25年)記念展示 古川修の建設業の世界」展を開催しています。古川先生の経歴などと合わせて展示概要をご紹介します。

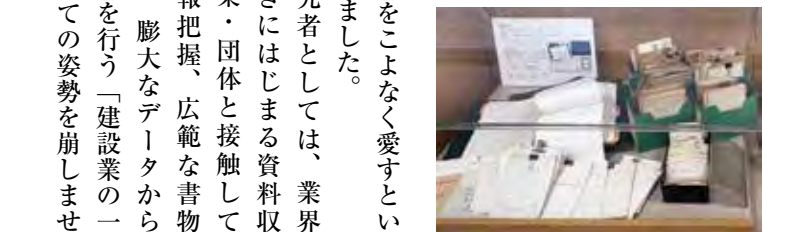
業績と人柄

古川先生は「建築経済」という言葉自体が目新しかった時代にあって、建築物のつくり方の合理化、近代化をどのように進めていくべきかという建築生産の研究に取り組みました。

建設業が営む生産活動は、日本全体の産業構造のなかでどのような位置づけになるのか、産業間の比較においてどのような特徴があり、合理化、近代化という面でのようなレベルにあるのかといった視点に立たれ、建設産業研究のパイオニアとして活躍されました。また、多くの門下生を育て上げ、今日の斯界の礎を築かれたのです。

古川先生は親分肌で面倒見のよいお人柄であり、行政や企業に対して迎合しない厳しさがありません。先生の貢献と、以降の産業政策の推移を回顧するものです。令和8年(2026)3月27日(金)まで当館展示コーナーで開催しておりますので、ぜひご来館ください。

らも、それぞれの人の立場を考えた気配りを忘れない、人間的な優しさを持ち合わせていました。またお酒と麻雀をこよなく愛するという一面もありました。



当館との縁

平成7年(1995)4月に策定された「建設産業政策大綱」に「建設関連総合図書館・博物館の建設」が取り上げられました。その構想を推進したのが建設省建設経済局建設課長(当時)だった竹歳誠氏と建設産業政策委員会の委員長を務めていた古川先生でした。竹歳氏や古川先生は、建設業には文化的基盤となる施設が必要だと長年考えておられたのです。

著書

例えば建築生産を軸に建設産業論の体系化を目指した学位論文「建設業総合工事業の生産規模に関する研究」は、昭和37年(1962)度の日本建築学会賞を受賞し、古川先生が自らの進むべき道を示された指針とも言うべき論考です。さらに昭和38年(1963)に刊行された『日本の建設業』(岩波新書)は、高度経済成長を迎え建設活動が活発になった昭和30年

当館はこの構想に基づいて平成14年(2002)に開設されましたが、初代館長となった菊岡俱也氏は、かねてより古川先生の薫陶を受けており、そのご縁から当館の根幹資料として、平成12年(2000)8月に古川先生のご遺族から蔵書が寄贈されました。これらの蔵書は建設業関連の幅広い分野の図書と、ご自身の研究分野であった建設労働や建築生産関連が多い報告書(いわゆる灰色文献)と合わせて約3900点で構成されており、「古川修文庫」として一般公開しています。もちろん、「古川修文庫」には、ご自身の著書も含まれているので代表作をいくつかご紹介しましょう。

展示のあらまし

さて、本展示は戦後期昭和20年代の建設業研究のあけぼのから現代までを6つに分け、それぞれにおける建設業研究のあゆみと古川先生の業績を、古川修文庫の文献資料から概観します。

また、わが国初の建設産業政策文書「21世紀への建設産業ビジョン」(昭和61年2月)および、入札改革を踏まえて産業政策の基本方向を示した「建設産業政策大綱」(平成7年4月)に刻まれた古川



●展示構成

展示テーマ	主な内容
1.建設業研究と建設業行政・産業政策のはじまり	戦後復興期における大成長／コレット旋風の衝撃 など
2.『日本の建設業』:三十代若き古川修先生の登場	『建設業総合工事業の生産規模に関する研究』や『日本の建設業』などを発表
3.古川修先生の資料:建設業の「小宇宙」	古川修文庫の紹介／手書きのメモ・ノートなど
4.建設業のあるべき競争の姿を求めて	昭和50年代の不況による大きな転換／新しい建設業政策 など
5.古川修先生晩年の「2つの新たな研究」	応札者側の入札戦略へのまなざし／「市場単価」方式の構築を主導
6.競争環境確立への厳しい道程	没後から現在に至る建設産業政策

「生誕100年(没後25年)記念展示 古川修の建設業の世界」展 案内

会期:令和7年(2025)11月5日(水)～令和8年(2026)3月27日(金)

会場:建設産業図書館内展示コーナー

無料にてご覧いただけます。

日本で唯一の建設専門図書館

建設産業図書館 利用案内

〒104-0045 東京都中央区築地5-5-12 浜離宮建設プラザ1階

電話:(03)3545-5129 FAX:(03)3545-5141

開館時間:9:30～16:30

休館日:土・日曜日、祝日、年末年始、特別整理期間

利用料金:無料

●主な収蔵分野:建設産業史、社史・団体史・伝記、建設統計、建設業経営、建設関連法規、建設関連文学

●特設文庫:古川修文庫、菊岡俱也文庫

●館内施設:閲覧席22席、AV視聴コーナー2席、検索コーナー2席

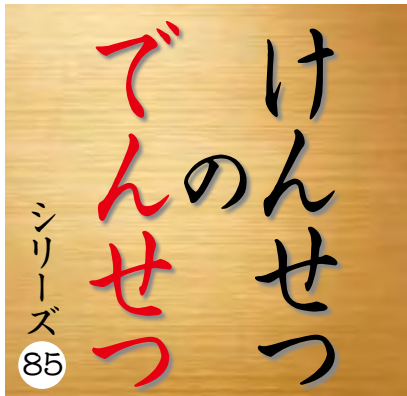
●貸出:2週間以内5点まで。宅配による貸出・返却も可

<https://www.ejcs.co.jp/library/>



蔵書検索可





建設の幻獣5 大いなる建設者たち

ダイダラボッチ

太古、日本列島にはダイダラボッチという巨人が住んでおり、山や湖を造ったという伝説が各地に残っています。富士山も彼の作品らしいので、おそろしいまでの大男だったようです。

「富士山を造るために、土を取った跡



ダイダラボッチ(当館職員 上原由子画)

で、今でも成長し

ない」

しかし、意外なことに東京の世田谷区にあった小さな橋を架けたという話もあります。代田橋の駅名などがその名残ですが、富士山に比べてずいぶん小さな細工に思えますね。手先も器用だったのでしょうか。

『新修世田谷区

史 上巻』は、江戸前期の仮名草子『紫の一本』にその伝説があることを示し、これによって少なくとも17世紀にはこの話が存在していたことがわかります。

「大多橋は、四谷新町の先、笹塚の手前にて大多ボッチが掛けたる橋也、大多とは大人にて百合若大臣といった。大力ありて強弓を引き、よく礫をうつ、世田谷の代田には、ダイダラボッチの足跡という大きな窪地があった」

ここでいう「百合若大臣」とは、幸若や説教節で語られた超人的英雄のことであり、蒙古軍を打ち破ったなどと語られていました。

乙媛

さて、ダイダラボッチは、むくつけき大男といったところですが、女性も負けてはいません。例えば、鹿児島県志布志市の枇榔神社に祀られる乙媛です。由緒によると、乙媛は天智天皇と里嬢娃の間に産まれたのですが、自分の子ではない

た。その故に姫君は勅命に依って沖合に放たれ給うた。

姫君の乗られた小舟は月明の金波銀波を分けて有明湾の真中に進んだ。たれ一人なきを幸姫は大急ぎで湾の中にこの枇榔島を造られた。そして次の夜には陸に渡るべき岩道を海中に築かれ始めた。所が『天邪鬼』が之を知って鶏に云ひ付けて『コケコー』を少し早めに鳴かしためで乙媛の計画は成し遂げられなかったと云ふ」

アマノジャク

こうして乙媛は、アマノジャク(天邪鬼)に邪魔をされてしまいました。ひと昔前は、ひねくれ者を指して「あいつはアマノジャクだからなあ」などということもありました。文字通り、その代名詞だったアマノジャクについて、柳田国男は次のように述べています。

「アマンジャクが神の計画の妨害者であり、しかも通例は『負ける敵』であったことは、弘く他の民間伝承にも認められて居る。是が果して神代史の天の探女の元の姿であるか、或は又今に承継いだのは其名前ばかりであつたか」

ここにいう、天探女とは、『日本書紀』や『古事記』に語られる神であり、葦原中国を平定するために派遣された天菩比神に、讒言をして死に追いつたことから、天邪鬼の原像だという説もあります。

ところで、アマノジャクは、ニワトリにいつけたり、自分が鳴きまねをしたりし

て、夜が明けたように見せかけ、神などがなさる工事を中断させます。これは彼の得意ないたずらなのですが、実はこうしたことから、古代の人々が神とはどのような存在だと考えていたのか、その一端が垣間見えるのです。

例えば、奈良県桜井市の箸墓古墳の造成伝説では、「昼は人が造り、夜は神が造つた」とあり、あるいは「言主という神が、役行者に命じられて葛城山と吉野の金峯山の間に橋を架けた際に、「醜さを恥じて夜だけしか働かなかつた」などと語られるように、神などが持つ超常的な力は、太陽の下では発揮できなかったのです。だから、夜が明けたことを知らせれば、工事を中断せざるを得なかったのでしょうか。

この他にも、皇祖神を祀り奉る伊勢神宮において、式年遷宮の重要な儀式である「遷御」でもこのことを確認することができま。申すまでもなく、式年遷宮は20年に一度、社殿を新たに造り替える神事であり、遷御はご神体を旧殿から新殿へと移し替える最も重要な儀式にあたります。

遷御は夜間に行われるだけでなく、照明はすべて消され、神体は厳重に覆い隠されます。このことからわかるように、神は光に当ててはならぬもの、人目につけてはならぬもの、と考えられていたのです。

それはさておき、アマノジャクのいたずらはニワトリの鳴きまねだけにとどまりません。例えば『旅と伝説』昭和8

年(1933)10月号の「因幡南部の伝説 西郷村にて採集」には、九十九谷の由来譚が紹介されており、こでもアマノジャクが登場します。

「小河内と北村谷との間に表圓山と云ふ山がある。此の山は大小無数の岡や谷が起伏して、美事な山で千谷もある変化に富んだものであった。そこで弘法大師が諸国巡錫の途中、此の山を探索して、其の変化あるに感じ高野本山の如く靈験あらたかな霊場にしよう、千体の仏を高野山で受けこれを設置せんとし再び、千谷をたしかめられたのであった。所がアマンジャクがこの山に住んで居て、一岡一谷をかくしてしまったために、九百九十九谷となり、霊場として千体を設けることが出来なくなり大師は残念そうにそこを立去られた。其時、千体の仏を涙をのんで河に流されたのが今の千代川だと云ふ。その盗んだ一岡一谷をアマンジャクが棒で荷うて湖山池を埋めようとして持つて出たが、途中でもつこの緒が切れて、其所に置いたのが大呂山で一方の緒の切れた方は形がくづれてしまった。そのくづれた方はくも山である」と云ふ」

ここで語られるアマノジャクは、「一岡一谷」をまるごとかくしてしまうような、大きな力を持っています。この話の後でも語られていますが、実はアマノジャクは、工事妨害だけでなく、ダイダラボッチと同じように山を造成するなどといった、とてつもない建設活動も行います。神奈川県に伝わる伝説を谷川磐雄『民



アマノジャクが住んでいたという箱根山のカルデラ湖「芦ノ湖」(神奈川県箱根町 2012年撮影)



箸墓古墳(奈良県桜井市 2009年撮影)

これは先に紹介したダイダラボッチの伝説に似ているのですが、国土を造成できるといふ大きな人々は、例えば先に紹介した百合若大臣だったり、瀬戸内地方では武蔵坊弁慶だったり、関東では大多羅坊だったり、肥前島原では味噌五郎、岡山では三穂太郎などと、地域によつて名前が異なるのです。枇榔島を造つた乙媛も同じたぐいのもので、アマノジャクもその二に数えられたのでしょうか、日本一の富士山を削つてみようなどと、いたずら心は健在のようです。

(文：江口知秀)

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたしますします。

今号の巻頭インタビューでは、「惨事ストレス」についての記事を掲載しました。この記事を取り上げようと思ったきっかけは、15年前に発生した東日本大震災です。当時、私はグループ会社で金融事業に携わっていました。復旧作業を支援するため被災地に赴かれたお客さまから「がれきの撤去といっても、実際には搜索活動で毎日泣いていた」というお話を伺いました。その経験から、災害復旧の現場で働く方々の心のケアについて、何か対策が講じられているのだろうか、ずっと気になっていました。

その後、広報誌の制作に携わるようになり、2025年4月のある日、テレビから「被災地で救援活動にあたる消防職員や災害ボランティアのストレスについて…」という言葉が聞こえてきました。「惨事ストレス」の被害者として挙げられていたのは、消防職員や警察官、医療関係者、災害ボランティアでしたが、建設業従事者も同様に該当するのではないかと思います。松井先生に取材をお願いしました。建設業従事者に関する「惨事ストレス」の詳しい研究・調査は、まだ十分には行われていないようですが、本号の記事が、被災地での復旧活動や、防疫活動に従事する皆さまの心と身体を守るための参考となれば幸いです。

特集一覧

2014年	2015年	2016年	2017年
冬：よみがえる	冬：へらす	冬：くみあわす	冬：しる
春：のぼす	春：もてなす	春：ささえる	春：やすむ
夏：はかる	夏：さかせる	夏：つなぐ	夏：いかす
秋：たくわえる	秋：こわす	秋：たのしむ	秋：あゆむ

2018年	2019年	2020年	2021年
冬：つかう	冬：あたたまる	冬：とりくむ	冬：ひきつける
春：かえる	春：かんがえる	春：つなぐ2	春：つたえる2
夏：ふせぐ	夏：めざす	夏：たかめる	夏：ふかめる
秋：つたえる	秋：みせる	秋：みちびく	秋：ととのえる

2022年	2023年	2024年	2025年
冬：かさねる	冬：はたす	冬：かたる	冬：かがやく
春：むきあう	春：つくる	春：あらためる	春：むかえる
夏：みなおす	夏：きざく	夏：つどう	夏：かなえる
秋：えがく	秋：めぐる	秋：みちびく2	秋：みつける

EAST TIMES

禁転載

東日本建設業保証株式会社
https://www.ejcs.co.jp

事業内容：公共工事の前払金保証、中間前払金保証、
契約保証、契約保証予約

公表資料：公共工事の動向、建設業景況調査、
建設業の財務統計指標

公開施設：建設産業図書館

※本誌の掲載文のうち、意見を述べた部分については、執筆者の個人的
見解であることをお断りします。
※誌面に関するご意見・ご要望、送付先変更等につきましては
弊社ホームページ「お問い合わせ」フォームより送信願います。



が身延山に滞在していた約9年の間、故郷である房州小湊（現在の千葉県鴨川市）の両親と師匠である道善房を追慕するため、西谷の草庵から約5・5kmの道なき道を行き、幾度となくこの山頂に登ったと伝えられています。ちなみに「思親閣」という名称は、親を思うという、この逸話に由来するそうです。



久遠寺の三門は京都の南禅寺や東福寺と並ぶ「日本三大三門」の一つと言われている※2



高低差104m、傾斜50度の菩提梯はまさに「心臓破りの階段」

(写真提供:日蓮宗総本山 身延山久遠寺)

●身延山城全体マップ(部分)



(提供:日蓮宗総本山 身延山久遠寺)

山梨支店

〒400-0031
山梨県甲府市丸の内1丁目13番7号 山梨県建設会館4F
TEL. (055) 237-8182 FAX. (0120) 027-366



山梨支店から

願いを叶える個性的な建造物

皆さんは願いごとを叶えたいとき、どこを訪れますか？ 一般的には、神社、寺院、教会などが頭に浮かぶと思います。ほかには、山や滝、海などの自然が生み出すスポットといったところでしょうか。意外な場所としては、皇居や城郭などもあるようです。

ここ山梨県内にも、そういう施設や場所が数多くあります。その中から内観・外観が特徴的な「グリーンバンクチャペル」と「身延山久遠寺」を紹介します。



階段の踊り場が丸く円柱のように突き出た可愛い外観の「グリーンバンクチャペル」



梁の交差とシャンデリアがマッチしている「グリーンバンクチャペル」の講堂。正面にはパイプオルガンが設置されている

(写真提供:山梨英和中学校・高等学校)

れを支える梁の交差が魅力的な講堂は、高さ約10m。明るさと開放感あふれる2層吹き抜けとなっています。令和4年(2022)10月、登録有形文化財(建造物)に指定されたこのチャペルは、学

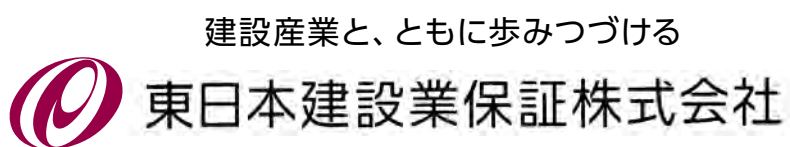
地を見下ろす高台に位置する山梨英和中学校・高等学校(甲府市)の講堂として、昭和24年(1949)に建てられました。チャペルの名前となっている「グリーンバンク」は、カナダ人宣教師で同学校長を務めたグリーンバンク女史に由来しています。3層からなるこの建物は、1階が鉄筋コンクリート造の煉瓦貼りの教室、2・3階は木造モルタル仕上げの講堂・ホールです。屋根は切妻造り※1のT字形スレート葺きとなっています。レトロなシャンデリア、船底を引っくり返したような天井、そ

校の礼拝やイベントのほか、コンサートや講演会など地域の人々が参加できる活動にも利用されており、教育の場としてだけでなく、地域コミュニティの活性化に寄与する場としても重要な役割を果たしています。一方、身延山久遠寺は、南巨摩郡身延町にある日蓮宗の総本山として知られています。日蓮聖人が文永11年(1274)に身延山に入山後、鷹取山の麓の西谷に草庵を構え、約9年間にわたり法華経の読誦と門弟たちの教導に専念。弘安4年(1281)11月に草庵を廃して本格的な堂宇を建立し、自ら「身延山妙法華院久遠寺」と命名したのが始まりと言われています。寺内を巡る見どころをいくつか紹介します。まずは身延山の正門の「三門」。間口23m、奥行9m、高さ21mの壮大なスケールと精巧な造りのこの門は、近代的な禅宗様式の二重門の好例とされており、仏教における

「空」「無想」「無願」の3つの境地から解脱するという意味合いから、山門ではなく三門と表しています。「菩提梯」は、三門と本堂を一直線に結ぶ急勾配の石段で、悟り(菩提)の境地に向かう階段とされています。石段の数は287。日蓮宗で唱えられるお題目「南無妙法蓮華経」の7文字を1段に1字ずつ唱えながら登ると、41回目で頂上にたどり着くようになっていきます。

ところで、菩提梯がなぜ287段になっているかご存知でしょうか？ 諸説ありますが、法華経の「二十八品」(品)は「章」のこと。法華経は28の章で構成されている」と「南無妙法蓮華経」の7文字の2つの数字を合わせることで、「287」という数が出てきたそうです。身延山麓の駅からロープウェイに乗り約10分で到着する「奥之院思親閣」は、身延山の山頂(標高1153m)にあります。日蓮聖人

※1 切妻造り:屋根の最頂部から地面に向かって2つの斜面が伸びる屋根の形のこと。本を開いて伏せたようなシンプルな山形の形状が特徴
※2 諸説あります



建設業界への入職促進・イメージアップ動画公開中！！

update

YouTube 東日本建設業保証公式チャンネル

